

《創立10周年記念演奏会》「口短調ミサ曲」に寄せて／三澤洋史

～ 最高の遊び～

東京バロック・スコラーズを結成して第1回目の口短調ミサ曲演奏会を行った時、すでに、10年後の演奏会は再び口短調ミサ曲にしよう決めていた。その間の10年間にはどんなことが起こり、当団はどんな風が変わっていくのか、10年後の口短調ミサ曲は今とどう違うのか、楽しみでもあり恐ろしさもあった。

僕は、自分のバッハが実現するまで長い年月がかかると思った。音符の扱いひとつひとつの処理から、バッハという人間の理念を表現するまで、あらゆる面で成熟した合唱団になるためには、たゆみない努力と果てしない時間が必要だから。

バッハという山はそこまで崇高で、近寄りたく、時に危険を伴うのだ。

Gloriaの中でpax(平和)というテキストが戯れる。それは最高の遊び。僕は思う。人生も遊びだ。真に戯れることの出来る者のみが人生を制するのだ。それがどんなに困難な事か分かっている者だけが辿り着ける境地。では、自分はこの10年間でどれだけバッハを無心になって遊び切ることが出来るようになったのだろうか。今こそ挑戦したい。最高の仲間達を得て神の山を登る。最高の遊びに酔うために。

指揮者／三澤洋史



国立音楽大学声楽科卒業後、指揮に転向。ベルリン芸術大学指揮科を首席で卒業。2001年より現在まで新国立劇場合唱団指揮者。1999年から2003年までの5年間、「パイロイト音楽祭」で、祝祭合唱団指導スタッフの一人として従事。2011年、文化庁在外研修員として、ミラノ・スカラ座合唱団の音楽作りを研修。バッハに深く傾倒し、2006年、自らのバッハ演奏のホームグラウンドとして東京バロック・スコラーズを立ち上げた。ここを根拠として「21世紀のバッハ」をめざして多角的な活動を行っている。CDモテット集は、雑誌「レコード芸術」で準特選に選ばれ、話題を呼んだ。著書に「オペラ座のお仕事」(早川書房)がある。



ソプラノ／ 國光 ともこ

武蔵野音楽大学卒業、愛知県立芸術大学大学院修了。新国立劇場オペラ研修所を経て、文化庁芸術家在外派遣研修員としてイタリアへ留学。帰国後、新国立劇場『オルフェオとエウリディーチェ』、『ペレアスとメリザンド』、『バルジファルとふしぎな聖杯』、『タンホイザー』に出演するほか、調布市民オペラ『椿姫』タイトルロールをつとめるなどオペラの舞台で活躍。また『メサイア』、『マタイ受難曲』、モーツァルト『レクイエム』、ヴェルディ『レクイエム』ほか、オラトリオや交響曲のコンサートソリストとしても積極的に活動している。



アルト／ 加納 悦子

東京藝術大学大学院、ドイツ国立ケルン音楽大学で学ぶ。ケルン市立歌劇場オペラスタジオ研修生を経て、同歌劇場の専属歌手となる。日本国内では、新国立劇場の舞台をはじめ、びわ湖ホールや東京二期会オペラ公演などに出演を重ねる。N響『大地の歌』、『第九交響曲』や東京フィル『グレの歌』をはじめ、昨年の新日フィル『亡き子を偲ぶ歌』のアルト・ソロでは陰影を伴った深い解釈の演奏を披露している。ソロCD『メアリ・スチュアート女王の詩』/シューマン後期歌曲集 (ALM RECORD) が2013年レコード・アカデミー賞声楽部門を受賞。



テノール／ 畑 儀文

兵庫県篠山市生まれ。大阪音楽大学大学院修了。小林道夫の伴奏による初リサイタルを行う。1991年オランダ・アムステルダムで有名なバロック歌手マックス・ファン・エグモントのもとで研鑽を積む。以後オランダ各地で毎年受難週には、エヴァンゲリストとして招かれ、近年はドイツ・ライプツィヒにおいてバッハ作品のソロを務める。シューベルティアデー・ジャパン代表、丹波の森国際音楽祭シューベルティアデーたんば音楽監督。関西フィルハーモニー合唱団コア・マイスター。



バス／ 大森 いちえい

昭和音楽大学声楽科首席卒業。国立音楽大学大学院音楽研究科声楽専攻(オペラ)修了。二期会オペラスタジオ第36期研究生修了。『ドン・ジョヴァンニ』『フィガロの結婚』『椿姫』出演。オペラの他、『メサイア』『レクイエム』バッハの『カンタータ』『ミサ』『受難曲』、更に日本歌曲などレパートリーを持つ。サイトウキネンフェスティバル『マタイ受難曲』のベテロ及び司祭役で、小澤征爾、ジョン・マーク・エインズリー、トーマス・クヴァストホフ、ナタリー・シュトゥツマン共演、CD録音。新国立劇場メンバーとして数々のオペラに出演中。



合唱：東京バロック・スコラーズ
管弦楽：東京バロック・スコラーズ・アンサンブル

三澤洋史のもとで「21世紀のバッハ」を追求しようという志を共有する合唱団と管弦楽団。合唱団はオーディションによって選ばれたアマチュア、アンサンブルは一流のプロ奏者からなる。演奏のみならず、公開レッスンや講演会など多角的な活動を行っている。また、バッハを愛好する個人や団体とのネットワークを広げ、バッハ探求のセンターとなることを目指している。

「団員募集」 バッハと一緒に歌いませんか？

東京バロック・スコラーズでは、毎回演奏会終了後に、一緒にバッハを楽しみ、ステージを作り上げていく仲間を募集しています。次の入団オーディション予定日については、決まり次第ホームページのオーディションページに掲載いたします。

演奏会会場 すみだトリフォニーホール



〒130-0013 東京都墨田区錦糸 1-2-3

講演会会場 求道会館



〒113-0033 東京都文京区本郷 6-20-5